

登米市図書館構想（改定版）の全体像

1. 新図書館整備の背景

公立図書館をめぐる状況

新図書館整備の必要性

これまでの経過

本構想の位置づけ

関連計画等

2. 登米市の概況及び市立図書館等の現状

登米市の概況

市立図書館等の現状

市立図書館等の課題

3. 新図書館の整備方針

市民一人一人が心豊かで充実した暮らしを送ることができるよう、さらには地域を支え発展させることができるよう、市民の学習活動を促進するとともに、自ら学ぶ市民への支援を行う「**学びの拠点**」を目指す。

また、各層・各世代の人々が、本と出会い、人と出会い、つながり、そして地域の賑わいを創出する「**交流の拠点**」を目指す。

基本理念

登米市の未来を創る 学びと交流の拠点

（基本理念を実現するために、新たな図書館の目指す姿を次の6つの基本方針として整理）

基本方針① 生涯にわたる学びを支える

基本方針② 地域や暮らしの課題解決に役立つ

基本方針③ 次世代を担う子供たちの読書を推進する

基本方針④ 人と人が集い、交流する

基本方針⑤ 登米市の魅力を発見し、発信する

基本方針⑥ 市民と共に育ち、市民が育てる

4. 新図書館整備に関する基本的な考え方

新図書館の整備場所

新図書館の規模

建築の考え方

施設の複合化

図書館機能の一元化とサービスの充実

機能別面積の目安

《新図書館の整備場所》

- ・市民が集まりやすく交通の便が良いところ
- ・買物、通勤、通学などの住民の日常生活において容易に立ち寄れる生活動線上

《新図書館の規模》

- ・延べ床面積（図書館専有部分） 3,500㎡程度
 - ・図書の収蔵能力 30万冊規模（開架能力12万冊、閉架能力18万冊）
 - ・市民の集いや交流のためのスペースを広く設ける
- ※日本図書館協会の数値基準を参考に設定

5. 新図書館が目指す数値目標

有効登録者数や蔵書冊数等の中長期の数値目標を設定し、全体的な図書館サービスの底上げを図る。